特殊詐欺被害と相談状況抜粋（令和8年10月中認知）

番号	種　別	被害関係	情報提供者 被害者	手段 相手方	相手方の文言等
1	SNS型 投資詐欺	【発生日】 8月中旬 【場所】 西予市	60歳代 女性	SNS 日本人名のアカウント （被害額：約1570万円）	令和8年8月中旬頃、被害者が携帯電話でSNSを閲覧していると、投資に関する広告が表示されたことからアクセスしたところ、別のSNSに誘導され、日本人名のアカウントを追加させられた上、投資アプリを紹介されたことから同アプリをダウンロードしました。 その後、被害者が相手から指示されたとおり同アプリを操作したところ、投資アプリ上で利益が出たように表示されました。 そして、利益分の出金手続きをしたところ、被害者名義の口座に利益分が振り込まれたため、被害者は本物だと信用しました。 その後、相手から「投資金額を増やしましょう。」と投資アプリのメッセージが送られてきたことから、同月下旬、相手の指示した口座に2回にわたり現金合計80万円を振り込みました。 さらに、相手から、「投資資金を入れて投資利益を大きくしましょう」とメッセージがきたり、「株式で出た利益を出金するには、引出し手数料15パーセントがかかる。」「引出し手数料を支払わないと口座に残っている資金は引き出せない。」「投資資金は受け取りに行きます。」などとメッセージが送られ、令和8年9月16日から同年10月21日までの間、3回にわたり、現金合計約1,490万円を手渡し、騙し取られました。
2	ニセ警察詐欺	【発生日】 9月30日 【場所】 新居浜市	60歳代 男性	携帯電話 ①郵便局員を名乗る男 ②警察官を名乗る男 （被害額：950万円）	令和8年9月30日、被害者の携帯電話に「＋」から始まる国際電話番号で郵便局員を名乗る男から電話があり、「あなた名義で中国に送る小包の中から、パスポートやキャッシュカードが複数見つかった。警察に繋ぐ。」などと言われました。 その後、電話相手が警察官を名乗る男に代わり、「あなたの口座が不正利用され、詐欺容疑がかけられている。資金調査する必要がある。」などと言われ、相手の指示に従ってSNSをインストールし、以降、同SNSでやり取りをするようになりました。 同年10月7日以降、検察官を名乗る男からビデオ通話やメッセージ機能を利用して、キャッシュカードやスマートフォンが大量に並べられた写真が送られてきて容疑事件の押収品であると告げられたり、「無実を証明するため、口座内のお金を調べる必要がある。指定した口座にお金を振り込んでもらい、無実が証明されればお返しする。」と言われました。 これを信用した被害者は、相手の指示に従い、8回にわたり指定された口座に現金合計950万円を振り込み、騙し取られました。
3	オレオレ詐欺	【発生日】 10月15日 【場所】 松山市	70歳代 男性	携帯電話 息子の名前を名乗る男 （被害額：300万円）	令和8年10月15日、被害者の携帯電話に未登録の「070」から始まる番号から電話があり、被害者の息子の名前を名乗る男から、「風邪を引いて声がガラガラになっている。」「浮気をして相手を妊娠させてしまった。裁判費用や中絶費用でお金が必要だから用意してほしい。」などと言われたことから、被害者は電話相手を息子だと信用しました。 その後、息子を名乗る男から、「電話番号が変わったから、この電話番号を登録しておいて。登録してある番号は消しておいて。」などと言われたことから、本当の息子の電話番号の登録を消去しました。 翌16日、被害者は、お金を工面した上で息子を名乗る男に電話したところ、「弁護士が代わりに取りに行くので、待ち合わせ場所まで来てほしい。」などと言われたことから、これを信用した被害者は、相手の指示に従って指定された場所へ行き、同所に現れた弁護士を名乗る男に現金300万円を手渡し、騙し取られました。
4	警察官かたり	【発生日】 10月21日 【場所】 伊予郡 松前町	60歳代 男性	携帯電話 警察官を名乗る男	「あなたが不正利用の被害者になっているので、警察に被害届と不正取得証明書を提出する必要がある。」
5	電話会社かたり	【発生日】 10月28日 【場所】 久万高原町	80歳代 男性	固定電話 携帯会社職員を名乗る男	「あなたの携帯の情報が洩れている。警察から連絡がある。」